



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL http://www.kose.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	56,487	27.5	8,543	197.9	8,975	219.3	4,868	326.1
27年3月期第1四半期	44,316	5.0	2,868	23.0	2,810	△13.2	1,142	△22.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5,520百万円 (445.8%) 27年3月期第1四半期 1,011百万円 (△58.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	85.35	—
27年3月期第1四半期	20.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	205,399	153,012	69.6	2,505.60
27年3月期	205,006	149,637	68.3	2,455.34

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 142,931百万円 27年3月期 140,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	27.00	—	37.00	64.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	37.00	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	111,000	18.2	13,000	84.5	13,800	70.3	7,700	86.0	134.98
通期	230,000	10.7	28,000	23.6	28,600	13.9	16,200	34.4	283.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	60,592,541株	27年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	3,547,612株	27年3月期	3,547,427株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	57,044,996株	27年3月期1Q	57,045,729株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)

事業区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品	30,675	69.2	40,332	71.4	9,657	31.5
コスメタリー	13,145	29.7	15,634	27.7	2,489	18.9
その他	495	1.1	519	0.9	24	4.9
売上高計	44,316	100.0	56,487	100.0	12,171	27.5

区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	2,868	6.5	8,543	15.1	5,674	197.9
経常利益	2,810	6.3	8,975	15.9	6,164	219.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,142	2.6	4,868	8.6	3,726	326.1

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)における日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、個人消費に持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかな景気回復の動きが続きました。化粧品業界におきましては、平成27年度の経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、4月以降の累計では販売個数・販売金額ともに前年を上回りました。また、昨年10月に化粧品が消費税の免税対象に加わって以降、訪日外国人旅行者による化粧品の需要が増加傾向にあります。

このような市場環境の中、当社グループは、今期より新たな中期経営計画「グローバルブランド育成期」をスタートさせ、「世界に通用するブランドの育成」と「経営資産の継続的なパフォーマンス向上」の2つの基本戦略のもと、世界で存在感のある企業への進化を目指し、一段と成長のスピードを加速させてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、前期に引き続き主要ブランドの国内販売が好調に推移したほか、インバウンド需要の取り込みや前期に買収したタルト社の業績が加わった結果、売上高は全ての事業セグメントで前年を上回り、前年同期比27.5%増の56,487百万円(為替の影響を除くと前年同期比26.4%増)となり、過去最高となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は14.2%となりました。

利益につきましては、増収効果及び経費抑制等により、営業利益は8,543百万円(前年同期比197.9%増)、経常利益は8,975百万円(同219.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,868百万円(同326.1%増)となり、いずれも過去最高となりました。

化粧品事業につきましては、国内では、高級化粧品を扱う(株)アルビオンの業績が好調に推移したことに加え、高付加価値ブランドの「コスメデコルテ」、ブランド誕生30周年の記念プロモーションを展開したスキンケアブランド「雪肌精」の売上が大幅に伸長しました。海外においては、米国タルト社が計画以上の業績となったほか、円安効果等もあり、海外全体の売上高が増加しました。これらの結果、当事業の売上高は40,332百万円(前年同期比31.5%増)、営業利益は7,876百万円(同122.0%増)となりました。

コスメタリー事業につきましては、シートマスクや日やけ止め等の重点カテゴリーブランドが好調なコーセーコスメポート(株)が業績を牽引したほか、セルフメイクブランドの「ヴィセ」やコンビニエンスストア向けブランド「雪肌粹」の売上が伸長しました。これらの結果、当事業の売上高は15,634百万円(同18.9%増)、営業利益は1,420百万円(同465.6%増)となりました。

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加した結果、売上高は519百万円(同4.9%増)、営業利益は218百万円(同44.6%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月28日に発表しました平成28年3月期の連結業績予想について、下記の通り修正いたします。

売上高につきましては、前期に引き続き国内主要ブランドの販売が好調に推移していることに加え、インバウンド需要の取り込みや、米国タルト社が好調な状況が続くなど、前回発表予想を上回り、過去最高となる見込みです。利益につきましても、増収効果及び経費抑制等により、予想を上回る水準を確保できる見込みです。

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 99,200	百万円 7,500	百万円 8,000	百万円 4,100	円 銭 71.87
今回修正予想(B)	111,000	13,000	13,800	7,700	134.98
増減額(B-A)	11,800	5,500	5,800	3,600	—
増減率(%)	11.9	73.3	72.5	87.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	93,943	7,046	8,104	4,140	72.57

平成28年3月期(通期)連結業績予想の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 216,000	百万円 24,000	百万円 24,600	百万円 14,000	円 銭 245.42
今回修正予想(B)	230,000	28,000	28,600	16,200	283.99
増減額(B-A)	14,000	4,000	4,000	2,200	—
増減率(%)	6.5	16.7	16.3	15.7	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	207,821	22,647	25,106	12,057	211.37

平成28年3月期(通期)の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

事業区分	平成27年3月期		平成28年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
化粧品	152,806	73.5	169,100	73.5	16,293	10.7
コスメタリー	53,214	25.6	58,900	25.6	5,685	10.7
その他	1,800	0.9	2,000	0.9	199	11.1
売上高計	207,821	100.0	230,000	100.0	22,178	10.7

区分	平成27年3月期		平成28年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)		
営業利益	22,647	10.9	28,000	12.2	5,352	23.6
経常利益	25,106	12.1	28,600	12.4	3,493	13.9
親会社株主に帰属する当期純利益	12,057	5.8	16,200	7.0	4,142	34.4

※主要な為替レートにつきましては、114円/米ドル、3.7円/台湾ドル、18.6円/中国元を想定しています。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,214	51,401
受取手形及び売掛金	31,563	30,392
有価証券	11,938	11,923
金銭の信託	9,000	4,500
商品及び製品	15,529	16,690
仕掛品	1,982	2,190
原材料及び貯蔵品	10,588	13,450
繰延税金資産	4,588	2,823
その他	1,339	2,339
貸倒引当金	△267	△285
流動資産合計	134,476	135,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,607	30,771
減価償却累計額	△18,885	△19,105
建物及び構築物(純額)	11,721	11,665
機械装置及び運搬具	12,964	13,036
減価償却累計額	△11,284	△11,354
機械装置及び運搬具(純額)	1,680	1,682
工具、器具及び備品	32,186	32,500
減価償却累計額	△27,622	△27,756
工具、器具及び備品(純額)	4,564	4,743
土地	17,041	17,047
リース資産	1,369	1,430
減価償却累計額	△779	△824
リース資産(純額)	590	605
建設仮勘定	194	354
有形固定資産合計	35,792	36,099
無形固定資産		
ソフトウェア	1,529	1,458
のれん	10,481	10,245
その他	9,689	9,453
無形固定資産合計	21,700	21,157
投資その他の資産		
投資有価証券	6,720	6,602
繰延税金資産	3,476	3,275
その他	2,990	2,986
貸倒引当金	△149	△147
投資その他の資産合計	13,037	12,717
固定資産合計	70,530	69,973
資産合計	205,006	205,399

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,793	10,850
電子記録債務	10,432	11,871
短期借入金	600	1,016
リース債務	175	179
未払金	8,176	6,343
未払費用	9,117	5,124
未払法人税等	4,520	692
未払消費税等	2,703	1,469
返品調整引当金	1,910	1,653
その他	777	3,389
流動負債合計	45,207	42,590
固定負債		
リース債務	472	488
役員退職慰労引当金	1,991	2,028
退職給付に係る負債	4,107	3,603
繰延税金負債	3,229	3,161
その他	359	515
固定負債合計	10,160	9,796
負債合計	55,368	52,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,390
利益剰余金	127,047	129,803
自己株式	△9,082	△9,084
株主資本合計	129,203	131,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,375	1,578
為替換算調整勘定	4,909	4,906
退職給付に係る調整累計額	4,576	4,487
その他の包括利益累計額合計	10,861	10,973
非支配株主持分	9,572	10,080
純資産合計	149,637	153,012
負債純資産合計	205,006	205,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	44,316	56,487
売上原価	10,159	13,259
売上総利益	34,156	43,227
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,452	3,607
販売促進費	9,073	10,665
運賃及び荷造費	1,770	2,022
給料及び手当	9,455	10,103
退職給付費用	324	219
法定福利費	1,461	1,552
減価償却費	596	698
その他	5,153	5,815
販売費及び一般管理費合計	31,288	34,684
営業利益	2,868	8,543
営業外収益		
受取利息	44	75
受取配当金	32	37
特許実施許諾料	13	21
有価証券償還益	—	76
為替差益	—	194
雑収入	34	37
営業外収益合計	124	441
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	176	—
雑損失	3	7
営業外費用合計	182	9
経常利益	2,810	8,975
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	4	18
特別損失合計	4	18
税金等調整前四半期純利益	2,806	8,956
法人税、住民税及び事業税	109	1,659
法人税等調整額	1,327	1,892
法人税等合計	1,436	3,551
四半期純利益	1,369	5,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	226	536
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,142	4,868

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	1,369	5,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	208
為替換算調整勘定	△426	△5
退職給付に係る調整額	△23	△87
その他の包括利益合計	△357	114
四半期包括利益	1,011	5,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	789	4,979
非支配株主に係る四半期包括利益	221	540

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,675	13,145	43,820	495	44,316	—	44,316
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	139	139	△139	—
計	30,675	13,145	43,820	634	44,455	△139	44,316
セグメント利益	3,547	251	3,798	150	3,949	△1,081	2,868

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△54
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,027

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、Tarte, Inc. が連結子会社となったことによるのれんの増加額は、化粧品事業において12,773百万円であります。なお、のれんの金額につきましては取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に計算された金額であります。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	欧米	計
39,581	4,596	138	44,316

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	40,332	15,634	55,967	519	56,487	—	56,487
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	118	118	△118	—
計	40,332	15,634	55,967	638	56,605	△118	56,487
セグメント利益	7,876	1,420	9,296	218	9,514	△971	8,543

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	10
各報告セグメントに配分していない全社費用	△982

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	欧米	計
48,468	4,527	3,491	56,487